

## 9月21日（土） 野田村支援・交流活動報告

担当：日比野愛子

9月21日（土）の支援・交流活動では、学生13名（うち事務局5名）、一般15名（うち、うたごえ喫茶2名、弘前いがめんち食べるべ会5名）、教員1名の、計29名が参加しました。バスは、予定通り、7時15分に弘前大学を出発し、10時20分頃、野田村役場に到着しました。今回の活動では、4つのグループに分かれて活動を行ないました。

- ① グループ：終日、コナモン選手権に参加
- ② グループ：午前中は野田中学校仮設集会所で交流茶話会とうたごえ喫茶、午後は、コナモン選手権に参加
- ③ グループ：午前中はコナモン選手権に参加、午後は学習支援
- ④ グループ：午前中は学習支援、午後はコナモン選手権に参加



花輪サービスエリアでの集合写真



野田中学校仮設集会所での交流茶話会

私は、②グループとして、午前中、野田中学校仮設集会所の交流茶話会に参加しました。野田村からは、15名の方が参加され、一緒に童謡、唱歌を歌いました。今回、アコーディオン奏者の山下先生には、おおいに会場を盛り上げていただきました。なんと、この会のために、軽めの新しいアコーディオン（それでも8kgはある）を購入され、練習されてきたようです。野田村のみなさんからは、「歌は楽しい。すっきりした。」という感想をいただきました。

午後は、コナモン選手権（第1回コナモン WORLD 選手権）に参加しました。コナモン選手権は、各地域のコナモンの食（お好み焼きなどの粉物）を通して、交流の輪を広げることと食文化の魅力再発見を目的として、チーム北リアスが企画・開催したイベントです。弘前チームは、「弘前いがめんち食べるべ会」の皆さんの主導のもと、市民、学生と一緒に出場しました。いがめんちの調理は「揚げ」が基本ですが、「弘前いがめんち食べるべ会」の皆さんは、このイベントのため、「焼き」の調理法を考案いただいたとのこと、実際食べ

てみると、揚げとは違った美味しさがありませんでした。このイベントには、ほかにも「スマイル焼き（イカ焼き）」（新潟県刈羽村）、「せんべい汁」（八戸、八戸高専）、「お好み焼き」（関西、大阪大学）、「しいたけ焼き」（野田村）といった多彩なコナモンが出店されました。野田村からの参加者は、あまり多くはありませんでしたが、野田村の方とボランティアが交流を深めていました。また、刈羽のみなさんと、弘前のうたごえ喫茶のみなさんが一緒に歌うなど、各地のボランティアチーム同士が親睦を深める機会ともなりました。



コナモン選手権の様子



焼きの調理による、いがめんち



トロフィーは誰の手に？



刈羽村のチームが優勝！

弘前チームは、15時半頃、会場を出発しました。その後、初めての参加者も多かったことから、海岸の堤防と下安家の視察に行きました。事務局側の時間の采配がうまくいかず、弘前到着が20時を過ぎてしまった点は、反省です。

歌、コナモン選手権、また、通常の学習支援など、煩雑なスケジュールでしたが、参加者のみなさんがそれぞれの工夫をこらしながら交流活動を行なえた一日でした。